

ホソバママコナ

Melampyrum setaceum (Maxim.) Nakai

ゴマノハグサ科
Scrophulariaceae

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB

選定理由 県内では北部地域に点在し、個体数は少ない。草地や岩場、林縁に生え、人里近い生育地では草刈などの人為が及び、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 耶馬溪地区、中津・宇佐低地、玖珠丘陵地・山地

分布域 本州(近畿地方以西)、四国、九州(福岡・佐賀・大分)、朝鮮半島、中国(東北部)、アムール、ウスリー、

生育環境 低地や丘陵地の草地、林縁。

現 状 生育環境が不安定で、消滅した生育地がある。

備 考 大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。

スズメノハコベ

Microcarpaea minima (Koenig) Merrill

ゴマノハグサ科
Scrophulariaceae

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB

選定理由 水湿地や水田に生える微小な1年草。県内の生育地は少ない。不安定な水田などの生育地では、生育状態に著しい消長がみられ、絶滅の危険性が高い。

県内分布 別府湾沿岸域、豊後水道域

分布域 本州、四国、九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)、沖縄、朝鮮半島、台湾、中国、インド、マレーシア、オーストラリア

生育環境 低地の水湿地や水田。

現 状 確認された生育地は極めて少なく、生育環境の適応性などが十分に把握されていない。

ツクシシオガマ

Pedicularis refracta (Maxim.) Maxim.

ゴマノハグサ科
Scrophulariaceae

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし

選定理由 九州を分布域とし、本県が北限域となる。県内では広く散在し、個体数は少なくない。草原の管理放棄や圃場整理などの改変により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区、英彦山・犬ヶ岳山地、津江山、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、大分川・大野川丘陵地、大野川上流域、祖母・傾山地

分布域 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)

生育環境 丘陵地や低山地の湿った草地。

現 状 水田や畑地周辺の改変で、消滅した生育地がある。

備 考 九州の特産種で、本県が分布の北限域となる。基準標本産地〔久住山〕国立・国定公園指定植物〔阿蘇くじゅう、耶馬日田英彦山、祖母傾〕